

今回のオーストラリア研修旅行は、オーストラリアの子どもと遊ぶ、日本の遊びと文化・教育を紹介する、オーストラリアの文化や生活・食べ物等を体験するという3つのテーマをもとに行われました。今回は1日にスケジュールがたくさん詰まっておりますが、それでもこれらの3つのテーマは十分に満たされていたのではないかと思います。

私は今回テーマの1つでもある、オーストラリアの子どもと遊ぶということをとて楽しみにしていました。オーストラリアの幼児施設は3箇所訪問しましたが、シドニー市内のピンジャラ幼稚園では特に幼児と関わる時間を持つことができました。子どもたちは突然やってきた我々を見ておびえる子や、はじめから人懐こい子などさまざま、国や言語は違っても子どもはどこの国も同じだと感じました。園内を見て回った時は日本の環境とまったく違い、さまざまな発見がありました。例えば室内は子どもたちが制作した造形が天井から吊るされていたり、絵は教室から廊下まで壁のいたるところに飾られていたりしました。またそれらの配色は原色が主で、室内がとてもカラフルに彩られていたのがとても印象的でした。午睡のときも日本のような布団ではなく、簡易ベッドで寝るところがまたオーストラリアならではの光景だと思いました。園のなかで一番驚いたことは、風邪をひいて熱を出した子どもへの対処方法でした。日本では頭を冷やし体は温めるのが普通だと思いますが、向こうではとにかく冷やすという考えがあるので、冷やしタオルで体全体の熱を冷ましていました。他にも日本との違いは、砂場の砂の質の違いや、使用していた粘土の固さの違いなど、挙げていくとキリが無いくらいたくさんありました。

各園では我々があらかじめ用意してきた紙芝居や手遊びなどグループに分かれて発表をしました。私は紙芝居を担当し



たのですが、英語での表現の仕方等で少し反省点はあったものの、想像以上に子どもたちが興味を持って聞いてくれたので、とても満足して帰ることが出来ました。観光のほうでは自由行動の時間が多く用意されていたので、楽しみにしていた市場での買物をする事も出来ました。

基本的にオーストラリアの人たちは気さくな人が多かったので、市場ではただ買物をするだけでなく、店員と片言の英語やジェスチャーでコミュニケーションをとったり、値引き交渉をしたりとまた普段とは違った別の楽しみ方が出来ました。食事は正直私の口には合いませんでしたがこれもまたいい経験だったと思います。

このように今回の研修旅行を通して、オーストラリアの生活から文化まであらゆる面の体験ができたと思います。そして今回の経験がこれからの将来において何らかの形で役に立てばと思っています。



学園記念ホール  
スタンドグラス



Information Team

Nichi-On

- 創立101周年 -

since 1903

# The Campus News

キャンパス ニュース 学校法人 三浦学園 日本音楽学校 学生向 情報

5 月号

2004. 第 98 号

編集発行 学園事務局

## 5月～7月の行事予定

### 幼 児 教 育 科 ( 保 育 士 コ - ス / 保 育 士 ・ 幼 稚 園 教 員 コ - ス )

#### 1 年 生

- 5月3日(月) 憲法記念日(休校)
- 4日(火) 国民の休日(休校)
- 5日(水) こどもの日(休校)
- 14日(金) 教養講座
- 6月5日(土) 実習前授業終了
- 7日(月)～19日(土) 体験実習期間(保幼)
- 21日(月) 授業再開
- 7月7日(水) 通年実習開始(保)
- 16日(金) 夏期休業前授業終了
- 17日(土)～8月31日(火) 夏期休暇

#### 2 年 生

- 5月3日(月) 憲法記念日(休校)
- 4日(火) 国民の休日(休校)
- 5日(水) こどもの日(休校)
- 14日(金) 教養講座
- 21日(金) 実習オリエンテーション
- 31日(月)～6月26日(土) 実習
- 6月28日(月) 授業再開
- 7月13日(火) 夏期休業前授業終了
- 17日(土)～8月30日(月) 夏期休暇
- 14日(水)～7月27日(火) 施設実習(保幼)
- 21日(水)～7月31日(土) 児童館実習(保)
- 8月31日(火) 夏期休業後授業開始(月曜授業代替日)

行事予定は「追加・変更」になることがありますので、学内掲示等に注意してください。

### AO入試説明会開催される

去る4月24日(土)視聴覚室において、AO入試説明会が開催されました。従来の説明会と違い、実際にAO入試を受験し入学した学生による体験発表とプレゼンテーションの実演、また、先生との面談の再現など趣向をこらした内容でした。

今年度は、約70名の学生がAO入試を選択、受験し入学しています。面談を重ねながら、先生と受験生の信頼を深め合える点が参加者の方々から好評でした。

皆さんのお友達や後輩で受験を考えていらっしゃる方がいましたら、ぜひAO入試をお勧めください。

なお、今後の入学説明会の予定は下記のとおりです。

第1回 7月10日(土) 午後2時より

第2回 8月7日(土) 午後2時より



説明会開会にあたり挨拶する小林学校長

## 入学式式辞

## 学校長 小林 志郎

日本音楽学校および東京聖星社会福祉専門学校の新入生の皆さん、入学おめでとう。

また式典にご参加くださいました保護者並びにご家族の皆さん、知人友人の皆さんにもお祝いの言葉を申し上げます。

本日は入学式に元衆議院議員で東京農業大学教授の栗本慎一郎先生をお迎えし、ご祝辞を頂くことになりました。大変、嬉しく、栄誉なことです。心からお礼申し上げます。

さて、保育者養成のカリキュラムは、経験の浅い人にはスタート・ダッシュとペース配分がつかみ難い教育課程です。なぜなら、二年間に100から115単位前後の単位を取得しなければなりません。4年制大学の卒業基準単位が124単位であることを比較していただければ、時間の余裕がない二年間のコースであることがわかります。走り出したら、ペースを落とさず走りぬいてしまうことが肝心だと思います。

夏休みまではゆっくり勉強し、少しは学生生活をエンジョイしようと考えている人があります。それはそれで正常です。でもそれはドラマの中の学生生活であって、現実には厳しいのです。

中沢和子さんが『イメージの誕生・0歳からの行動観察』の中で次のように言っています。

「三十なん人、やりたくない子まで何とかこれでまとめていくなんで、たいへんなことですよ」とある幼稚園の先生に言われた。

このあとの文章を要約すると、『まとめあげる教育』は日本の伝統的な教育理念であり、私たちはまとめあげるために教育をしがちである。一方で子ども一人一人の個性を生かし、他方でまとめあげるという教育・支援を行わなければならない。

しかし中沢さんは気楽にしておらかに教育をしなさいと言う。基本は個人差があることを認めるのが原点であろうから、教師が満足するために、「まとめよう」と焦らないほうがいいのではないかと書いています。

その後で彼女はこうに綴っています。「子どもたちは、自ら育つ力をもっている。この力はいままでもその時々を乗り越えてきたし、これからも子どもたちは大人を

乗り越えて成長していくだろう。」

これは人間の本質にかかわることであり、人間の生きる根源的な力を認め、手取り足取り教えずぎるな、という意味にも受け取れます。

つまり「教える」ことにとらわれすぎないよう余裕を持ち、成長に必要な質の高い支援を心がけたならば、子どもは一人ひとりに見合った、自分の時間の尺度で成長するにちがいありません。「急かすな」「まとめあげるな」「自分のペースを守らせろ」「待ちましよう」という思いが込められた一文です。

ここに「待つ」というキーワードを設定して話を続けましょう。

面接で、「なぜ保育者になろうと考えたのですか」と質問すると、驚くなかれ30%以上の方が幼稚園や保育園の先生が素晴らしい方であった、あの先生のような保育者になりたいからです」という答えが返ってくる。これは面接に必ず出る最高の愚問の一つであると私は思っています。この愚問への答えは「素晴らしい先生と出会いました。あの先生のようにになりたい」しかあるまい。これは最高の答えのひとつです。

全員が素晴らしい先生に出会えるはずがないでしょう。したがってもう一つの答え「嫌な先生に出会った。あのような先生には決してならない、子どものためになる先生になりたい」という回答があってもいいのだと思います。

ここで「どういう点がすばらしく」、「小中高で同じように素晴らしい先生との出会いはなかったのか。もっと多くの先生にあっていよう」などと突っ込んで質問してはいけません。

ここでも待つことが肝要です。待っていると、先生の姿や声が想像出来るような話にまで発展し、先生の人格や行動様式、みなさんの心の動きが見えてくるのがしばしばあります。こういうとき最高の愚問といえども捨てがたい存在になるのではないのでしょうか。「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、個性的な文化の創造と民主的な社会及び国家の発展に

右上へ▶

前頁より

努め、進んで平和的な国際社会に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、(その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。）」と、平成十年に出された「小学校・学習指導要領」に書かれています。

これは何について書いているかということ、道徳教育についての記述なのです。教育というものはずばからく、「人間尊重の精神」「生命に対する畏敬の念」「豊かな心」「個性的な文化の創造」「国際社会に貢献し」「未来を拓く主体性のある日本人を育成」のためにいうものなのでしょう。

何も道徳と言う授業が大上段に振りかぶらなくてもよいのだと言う議論が聞こえてくるゆえんでもあります。指導要領のこの部分と幼稚園の指導要領の趣旨を照らし合わせてもあまり変わらないのです。学校教育法の大学の教養科目についての記述も大差ないのです。

このような教育はどうやったら達成できるのでしょうか。批判力と判断力と応用力をもったソーシャル・スキルはどうやったら教えることができるのでしょうか。

国際基督教大学の絹川正吉前学長は『大学は変わる』の中で根本は愛であると述べてい

ます。「分け隔てのない愛」「先入観のない愛」「公平・公明な愛」の重要性を強く主張し、愛を理解し、身につけることがいかなる方法論を会得するよりも大切であると説いています。絹川先生は日本有数の数学者で、かつ毒舌家でも有名ですから、学生に対して甘えやごまかしを許さない厳しい評価を与え、いつも最初は火の出るような討論になるが、彼の若者に対する愛情とその公正さがいつしか浸透し、数学の授業が「人間尊重、生命への畏怖」や「日本人論・国際教育論」の時間に発展することがしばしばあるそうです。

こう説明すると、授業中は終始、機関銃のように説得の言葉を放つ先生のように見えるでしょうが、絹川先生は、熱くなればなるほど、寡黙になられます。火傷をするような言葉を時々吐くが、学生が考え、問題を見つけ、提言するまでじっと待っていらっしやいます。

答えを与え、考えるチャンスを奪ってはならない、これが絹川先生の教育についてのお考えです。

新入生の皆さん、今年のテーマは「待つ」でした。答えはすぐにはでないでしょうが、私は待っています。

## 平成16年度 活動サークル

平成16年度は、下記のサークルが活動しています。参加を希望する学生は各サークルの部長まで。

サークル名	活動日	活動場所	部長	顧問教員
コーラスサークル	金	7-2 7-3 保育実習室	吉田友輝 (保幼2B)	三小田美稲子 山本直樹
シアターサークル	火・木	9号館地下	五十嵐恵吾 (保幼2A)	諸井泰子
造形サークル	火	造形室	仁ノ平信幸 (保幼2B)	桜井剛
素話サークル	木	5 - 3	山下和恵 (保幼2B)	三澤裕見子
どんどんサークル (和太鼓)	金	中ホール	杉沢直美 (保2A)	三小田美稲子
児童文化研究会	月・水 金	9号館地下	堀口真鈴 (保幼2B)	富岡麻由子
軽音楽サークル	金	小ホール	前田隼・松田拓也 (保2B)	三小田美稲子
MDC(ミュージックダンス サークル)	月・水	8-1 中ホール	米内千春 (保幼2B)	穂田みづほ

